



西浦の風

敦賀市立西浦小学校
校長室だより 第8号
平成26年11月28日

心を育てる

以前のテレビのドラマで『人』という字は、ひと（あっちの線）とひと（こっこの線）が、お互い支えあっているから人なんだ」との“せりふ”がありました。『人』という漢字がどのようにつくられたかはさておき、人が集まると自然と他人のことが気になり、意識するようになってきます。大なり小なりトラブルも起きてきます。

学校は、小さな社会です。いろんな問題も起きますが、その時にどれだけ相手の考えや気持ちを理解しようとするか、その上で自分の考えや気持ちを、相手に理解しやすいよう工夫して伝えることが大切になってきます。学校では、子どもたちがいろんな問題に出会ったとき、自分の力で解決できるよう、聴く力・伝える力（コミュニケーション能力）を高めることに力を入れています。授業の中で、日常活動の折に、行事を通じてなど、今後もいろいろな場面で働きかけをしていきます。



12月4日（木）～12月10日（水）までは『人権週間』です。子どもたちが人権を尊重する気持ちや豊かな人権感覚が身につけられるよう、授業での学習や作文・標語を書くことを計画しています。

ところで、「子どもの権利条約」というのをご存知でしょうか。日本は今から20年前にこの条約に参加しました。一部をご紹介します。

- | | | |
|----------|-------------------|-------------|
| ☆生きる権利 | ☆育つ権利 | ☆守られる権利 |
| ☆参加する権利 | ☆親と引き離されない権利 | ☆虐待・放任からの保護 |
| ☆休み、遊ぶ権利 | ☆経済的搾取・有害な労働からの保護 | などなど |

ユニセフのホームページには、小学校高学年用に分かりやすく解説もされています。ご家庭でも人権や人との接し方などについて話題にしていただけると、子どもたちの理解も一層進むと思います。

敦賀市の教育 西浦小学校の教育



敦賀市すべての学校では、「敦賀スタンダード」を基に教育が進められています。これまでも聞かれているとは思いますが、国が定める指針（学習指導要領）を実践しながら、そこに敦賀市独自の内容を織り込み進めていこうという計画（カリキュラム）です。

西浦小学校では敦賀スタンダードの取り組みとして「ふるさと学習」に力を入れています。特に5・6年生は、自然、歴史、伝統、文化、産業について現地にも出かけて調査し、その結果を『ふれあい文化祭』で発表しました。未来を担う『浦っ子』は、日々西浦や敦賀市のことをしっかりと学んでいます。

前期学校評価について

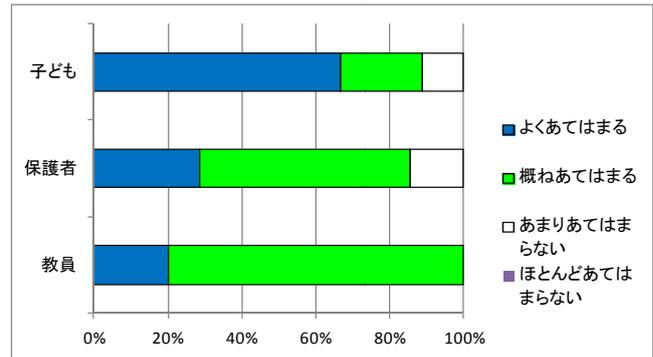
平成26年度も残り4カ月余りとなりました。前期の学校の運営について、子ども・保護者・教員にアンケートを取りました。

「お互いに認め合う集団づくり」「ふるさと意識の高揚」に関しては、3者の評価は概ね良好でした。

一方、「自己肯定感の高揚」については、子どもと教員は低くなりました。今後の教育活動で意識して働きかけていきます。

*詳しい結果は、地域学校協議会、保護者会でお知らせします。

【ふるさと意識の高揚】



文化祭



10月21日(金)に『ふれあい文化祭』が開かれました。保護者のみなさんや地域の方がたくさんお越しくださいました。お忙しい中、ありがとうございました。

子どもたちにとっては、忙しい日でしたが終わった後の表情は充実感にあふれて輝いていました。楽しい時間(とき)はすぐに過ぎ去るといわれていますが、それを実感した日となりました。



12月主な行事

- 2日(火) 松原小学校との交流学习
〔2限目、業間運動、3限目で交流〕
- 4日(木) ふれあい文化子どもスクール
(5・6年生)
人権週間(～10日)
- 10日(水) 人権デー、福祉学習(1～3限目)
- 11日(木) 学力調査(～12日 5年生対象)
- 12日(金) 大掃除、ワックスがけ
3・4年生校外学習(かまぼこ工場)
- 16日(火) 地域・学校協議会
- 18日(木) 2学期中間評価・懇談会
- 19日(金) 給食終了
- 22日(月) 全校集会・地区集会、休み前指導
- 23日(火) 天皇誕生日
- 24日(水) 冬季休業(～1月7日)
- 29日(月) 学校閉鎖(～1月3日)

先日、昭和56年に発行された西浦小・中学校の創立20年記念誌を読んでいると、「小1から中3までが全員で『さざえが岳』に登山した」との一文があり驚きました。読んでおられる方の中には、小学校の低学年で登られた当事者の方もおられるかと思えます。

小学校低学年で登るとなると、そのたいへんさは目に浮かぶようですが、そこは浦っ子、上級生がしっかり面倒を見て全員が登頂したのでしょうね。今の浦っ子たちにもいろんな活動をしてもらい、体力・気力を育てていかなければと思っています。

◆今年作成する記念誌の原稿の募集をしています。◆